

# 好きな本 互いに紹介10年



本の魅力を語り合う参加者たち  
(習志野市のカフェパパで)

## 習志野ぶつくさろん

習志野市周辺の本好きが集まって本の魅力を語り合う「習志野ぶつくさろん」が4月に発足10年を迎える。知的な刺激を求めるシニア世代の憩いの場となっている。

(芝田裕一)

## 「新たな世界発見できる」

主宰する鷹宮谷辰彦さん(79)によると、「ぶつくさろん」は2015年4月に始まった。京成大久保駅前のカフェ付きレンタルスペース「カフェパパ」を会場に、2か月に1回、ケーキとコーヒーを味わいながら各自がお気に入りの本を紹介している。14年秋に地元市民団体が市民に希望を募ったところ、「読書会をやりたい」という回答が多かったことから開催が決まったという。

2月22日には55回目が開かれ、50歳代と70歳代の男女10人が参加した。NHK大河ドラマの主演・鶴屋重三郎や浮世絵作家を巡る本やコアジサシが主人公の大人向き絵本、四国巡礼の記録など、様々なジャンルの書籍が取り上げられ、参加者たちはフリートークを楽しんだ。

7年ほど前から参加しているという同市の高橋静江さん(79)は「絶対に自分で買わない本の話も聞くことができる。この年で新たな世界を発見できる貴重な

五年前よりこの杖と仲よしになり嬉しくて今日も散歩  
千葉市 小林 昭

目に見えぬ花粉ごときに泣かされる

印西市 山田 明

場」と話す。  
これまでに取り上げた本は500冊以上で、鷹宮谷さんによると、近隣市町でも読書会が増えており「参

考にしたい」と見学に来た人もいるという。鷹宮谷さんは、「10年はあつという間だった。60回、70回と続けていきたい」と話した。

## サイバー犯罪対応 技術競う

### 県警本部などから274人参加

サイバー犯罪への対応力を高めようと、コンピューターの知識や技術を競うコンテスト「CTF」(Capture The Flag)旗取りゲーム)が2月26日、県警本部(千葉市中央区)で開かれた。本部の各部署や39署の警察官ら計274人が参加した。  
県警サイバー犯罪対策課が主催した。参加者は2人



2人1組で課題に取り組み参加者(2月26日、県警本部で)

県などに農業資材  
1600万円相当寄付  
東京の農業メーカー

船橋市などに営業所を持つ総合農業メーカー「渡辺パイプ」(東京)は10日、企業版ふるさと納税制度を活用し、県などに農業資材を寄付した。農産物の高温対策や有機栽培に向けた研究、生産者を育成する教育

環境 企 自治 業の 度。 四つ 鳥獣 てき 農業 農業 当を 部長 かけ 業振 と話 目録 事は 事が しが 網と 浴 人 廿 人 学 米の 午